

【目次】

1. アーカイブ No.18

連載「日本労働会館物語」第 15 回 2010.09.14 発行の第 17 号に掲載

2. UA ゼンセン岩手県支部 解説と見学 21 名
3. UA ゼンセン流通部門・ヨークベニマル労働組合・「紅子屋」講演と見学 10 名
4. 国際労働財団(JILAF)フィリピン・マレーシアチーム 講演と見学 14 名
5. UA ゼンセン宮崎県支部・男女共同参画委員会 講演と見学 4 名
6. 出張講演・UA ゼンセン流通部門・流通カレッジ 25 名
7. JAM 北関東 解説と見学 19 名
8. UA ゼンセン本部・新入局員研修 解説と見学合計 7 名
9. JAM 山陽・兵庫西 解説と見学 16 名

過去に連載「日本労働会館物語」を掲載していました。メールレポート「友愛労働歴史館たより」第 184 号よりアーカイブから、可能なものを抜粋し、再掲載していきます。

1.アーカイブ No.18

連載「日本労働会館物語」第 15 回 2010.09.14 発行の第 17 号に掲載

連載「日本労働会館物語」第 15 回！

「日本労働会館物語」第 15 回！

< 唯一館の建設その 2 >

明治 26(1893)年 1 月、正式に唯一館の建設が決定し、同年 4 月 28 日に定礎式を行っています。「設計はジョサイア・コンドル、工事は鳥海藤吉棟梁の監督」とされています。



木造二階建て、唐破風を持つ唯一館は、翌明治 27 年 3 月 23 日に開館式(献堂式)が行われました。クレイ・マッコレーは『献堂式の記録』で、「我々の建物は、建坪およそ 75 フィート×50 フィートで、二階建てである。考案された建築様式は、和洋折衷様式で、国産の木を使用した質実剛健

な造りで、防火設備があり、明るい図書室、また特に立派な読書室がある。詳細に見ると、我々の企画では 1 階部分の、入り口の左側が我々使節団に与えられ、程よい広さの応接室、日本ユニテリアン協会事務局のためのオフィス、神学

校の学生のための休憩室、管理人の住居、そして我々の出版物その他教材用の物置がある。入り口の右側は、雑誌用及び郵便活動のオフィス、先進学院校長の部屋、そして既に述べた防火設備のある図書室と読書室である。2 階には広く明るい階段が続き、先進学院の教室が五つ、礼拝や卒業式、講義、その他の催しの際に、300 人以上が座れる集会場がある。この集会場は快適な部屋で、50 フィート×30 フィートの広さがあり、天井まで吹き抜けて、出口も多くあり、大きなドアを開いて隣の部屋とつなげて広く使うことも出来る。全体的に、この新しいホールは我々の 3 部門の使用に見事に適合しており、上品で魅力的、しかしシンプルで上等な建物の良い例と言えらる」と記述しています。

また、続けて「○敷地は丈夫で見栄えの良い壁で囲まれており、壁は約3フィートの高さの石で覆ったレンガと、装飾的な鉄製の上部構造から成っている。○立派な砂利の私道があり、二つの大きな門からホールの正面玄関まで続いている。○一つの正門脇に掃除夫用の番小屋がある。○敷地には現在、上品な和風の庭が配置され、見た目には、時々耕作中のようにも見えるが、草が生い茂り、花が咲き、木々には勢いがある。建物の土台は深く、幅広で頑丈であり、硬質レンガと灰色の石で造られている。○庭は至るところ、下水土管から排水されている」と続けています。

また、『ジョサイア・コンドル建築図面集』(河出書房新社)の「唯一館」には、「新装なった唯一館は、木造 2 階建、柱型を表わして長押を付け、唐破風や蟬股、懸魚などを用い、屋根や軒に反りを持たせるなど、その概観は明らかに日本の伝統的な建築を志向したものであった。しかし、ホールを中央とする平面形式、暖炉を設けた室内師匠、それに構造や仕上げなど、基本的にはあくまでコンドルの設計になる洋風建築である。和風の概観は、彼の作品の中では特異な存在であるが、それはコンドルだけの意思ではなく、自主性を強調したユニテリアン教そのものの方針に沿ったものでもあった」と記述されています。なお、唯一館の建築図面 14 枚を含むジョサイア・コンドルの図面は現在、京都大学に保管され、重要文化財に指定されています。(連載第 15 回終り)

2. UA ゼンセン岩手県支部 21 名が解説・見学

6 月 4 日(火)、UA ゼンセン岩手県支部 21 名が、講義「日本労働運動の 100 年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の 100 年余の解説を 40 分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治

と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

3. UA ゼンセン流通部門・ヨークベニマル労働組合・「紅子屋」10名が講演・見学

6月5日(水)、UA ゼンセン流通部門・ヨークベニマル労働組合・「紅子屋」の10名が来館。単組における委員長を塾長とする選抜式の塾。常設展示の「日本労働運動の100年余」に加えて、友愛会や社会主義運動など「友愛会の運動の詳細から民主的労働運動を探る」と称し、現代につながる運動の流れを講演。講演後見学をしました。

常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の講演を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

4. 国際労働財団(JILAF)フィリピン・マレーシアチーム14名が講演と見学

6月06日(木)、国際労働財団(JILAF)フィリピン・マレーシアチーム14名が、講演と見学をしました。常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聴く。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を学びました。その後は、展示室の見学、皆さんとっても熱心に受講し見学をしました。

5. UA ゼンセン宮崎県支部・男女共同参画委員会 4名が講演・見学

6月07日(金)、UA ゼンセン宮崎県支部・男女共同参画委員会 4名が来館。赤松常子さんを中心に講演を要望された。それを受けて、「赤松常子さんの生涯」と「日本労働運動の100年余」を並行的に講演解説した。

特に、赤松さんの総同盟に入局するまで、「被差別部落に入り解放運動」、「関東大震災の時に、賀川豊彦を助け孤児救済活動」。そして、入局。社会民衆党結成に参加。戦後は参議院議員としての活躍、「労基法」「売春防止法」の制定に動く。また「世界連邦建設同盟」で副会長を務めるなど活躍ぶりを紹介した。

6. 出張講演・UA ゼンセン流通部門・流通カレッジ 25 名

6月12日(水) 出張講演・UA ゼンセン流通部門・流通カレッジの25名に対し「次代を担う流通労働運動のリーダーに期待すること」を講演した。そこには、常設展示「日本労働運動の100年余」を解説。期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、共産主義の上陸、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を前提に講和。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、過去を学ぶことで現代の運動とか未来の運動が見えると講和。労使関係論と企業統治、生産性運動三原則の変遷、最後に鈴木文治(人間性と職業能力の向上)と松岡駒吉(産業人論と健全なる労働組合主義)のメッセージの重要性を伝えた。

7. JAM 北関東 解説と見学 19 名

8. JAM 山陽・兵庫西 解説と見学 16 名

6月13日(木)、JAM 北関東の19名、また6月28日(金)、JAM が山陽・兵庫西の16名が常設展を解説と見学。「日本労働運動の100年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を聞いた。特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

9. UA ゼンセン本部・新入局員研修合計 7 名が解説・見学

6月11日(火)に3名、20日(木)に4名が来館。講義「日本労働運動の100

年余り」をダイジェスト版で受講、期成会の結成と解散、ユニテリアンの来日から友愛会の創立、戦前戦後の運動の歴史、総同盟・同盟、連合への発展など日本労働運動の100年余の解説を40分受講し、特に同盟運動の歴史を中心に学び、友愛会、同盟の基本理念や「自由にして民主的な運動」「政治の必要性と今後の方向性」「反自民・非共産の考え方」などを学習し、鈴木文治と松岡駒吉のメッセージの重要性を学びました。受講後は、展示室の見学をした。皆さんとっても熱心に受講しました。

-----*「人間の尊厳、進歩と発達のために」*-----

発行：友愛労働歴史館

責任者：藤吉大輔

〒105-0014 港区芝 2-20-12

友愛会館 8F

TEL050-3473-5325

Eメール yuairodorekishikan@rodokaikan.org

HP <http://www.yuairodorekishikan.com>

-----*惟一館から129年、友愛会から111年*-----